

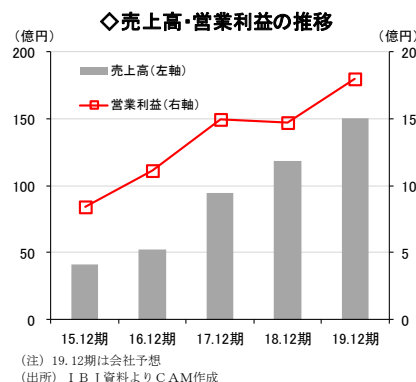
# 企業ニュース IBJ

(東証1部：6071) <https://www.ibjapan.jp/>

作成者：村上大志

## 国内最大級の結婚相談所ネットワークを形成

2006年、設立。全国約2,000社の結婚相談所とその会員数約60,000名以上をつなぐ国内最大級の結婚相談所ネットワーク「日本結婚相談所連盟」を運営する。婚約までサポートする成婚主義にこだわり、2018年に国内成婚組数の1% (6,132組) を達成した。その他の事業では、婚活パーティーの運営やウェディング、保険、旅行などのライフデザイン事業も手掛けている。中期経営計画では22.12期の売上高300億円、営業利益50億円を目標に掲げ、国内成婚組数の3% (約18,000組) 創出を目指す。婚活支援はプライベートな問題とされ行政は本格参入をためらう傾向があり、民間企業が解決すべき問題として当社の活躍余地は大きい。



## 婚活事業が好調

19.12期・第2四半期 (1-6月) 累計の連結業績は売上高が74億7,300万円、前年同期比56%増、営業利益が10億8,200万円、同64%増。婚活事業の売上高は51億7,000万円、同79%増、セグメント利益は16億1,800万円、同30%増。昨年のM&Aが寄与したことに加え、新規開業件数や加盟店が増加で開業加盟金やシステム利用料金が拡大した。また、婚活パーティーも好調だった。ライフデザイン事業の売上高は23億300万円、同21%増、セグメント利益は7,200万円、同195%増。GWの海外旅行客や式場への送客が増加した。

19.12期の会社計画は売上高が150億5,500万円、前期比27%増、営業利益が18億円、同22%増。日本結婚相談所連盟で成功しているFCモデルをパーティー事業やアプリ事業へ展開し、会員基盤拡大を図る。カウンセラーの強化とAI (人工知能) の活用が奏功し、お見合い件数は増加傾向である。事業承継の一環とした取り組みできらやか銀行、仙台銀行と業務提携した。独身の経営者や後継者に対する婚活支援を行う予定で、下期から業績への貢献が見込まれる。「令和婚」ブームも追い風となり、業績モメンタムの加速に期待したい。

## [株価動向・投資判断]

好調な業績を受け、株価は上昇し年初来高値を更新した。予想PERは34倍台と割安感はないが、事業は好調に推移しており高成長が期待できよう。

<6071 IBJ 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は日経予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
17.12	9,461 ( 80)	1,493 ( 34)	1,493 ( 35)	1,036 ( 43)	28.2	9.00
18.12	11,818 ( 25)	1,476 ( ▲1)	1,468 ( ▲2)	1,050 ( 1)	26.4	9.00
19.12 予	15,055 ( 27)	1,800 ( 22)	1,848 ( 26)	1,255 ( 20)	31.8	9.00



[主要株価指標]	(売買単位：100株)
株価 (2019/8/19)	1,087 円
年初来高値 (高値日)	1,099 円 (19/8/19)
同 安値 (安値日)	661 円 (19/1/4)
予想 P E R (19.12 予)	34.2 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	102.4 円
P B R	10.61 倍
予想配当利回り	0.83 %
(1株当たり配当金9.00円)	
R O E (18.12)	31.4 %
発行済み株式数	4,142 万株